

③ 後発医薬品への変更に関する事例

処方箋に記載された医薬品と異なる成分の医薬品を調剤した事例

ヒヤリ・ハット事例のうち、後発医薬品への変更に関する事例が121件報告されています（集計期間：2016年1月1日～12月31日）。このうち、先発医薬品を後発医薬品に変更するところ、異なる成分の医薬品と取り違えた事例で報告された医薬品の組み合わせを「主な薬効」とともに以下に示します。

処方箋に記載された医薬品	調剤すべき後発医薬品	間違えて調剤した医薬品
主な薬効が異なる組み合わせ		
血圧降下剤 アテレック錠10 (0.5錠)		高脂血症用剤 シンバスタチン錠5mg 「SW」
催眠鎮静剤、抗不安剤 レンドルミンD錠0.25mg		精神神経用剤 クロチアゼパム錠5mg 「日医工」
精神神経用剤 デパス錠0.5mg		催眠鎮静剤、抗不安剤 トリアゾラム錠0.25mg 「CH」
主な薬効が同じ組み合わせ		
血圧降下剤 ディオバン錠80mg (0.5錠)		バルサルタン錠40mg 「サンド」
糖尿病用剤 オイグルコン錠2.5mg		グリベンクラミド錠2.5mg 「サワイ」
主としてグラム陽性・陰性菌に作用するもの メイアクトMS錠100mg		セフジレンピボキシル錠 100mg 「トーワ」
		セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg 「サワイ」
		セフジレンピボキシル錠 100mg 「日医工」
		セフジニルカプセル 100mg 「日医工」

注 報告された事例には製造販売会社名が記載されていなかったため不明である。

※1 「主な薬効」とは、その医薬品が対応する個別医薬品コード先頭3桁の医薬品分類を示す。

※2 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 平成28年年報 132頁 図表3-6をもとに作成した。

※薬局ヒヤリ・ハット分析表は、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会の専門家の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部
 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東洋ビル 電話：03-5217-0281（直通）FAX：03-5217-0253（直通）
<http://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>